

ESE親時計 Fシリーズに更新

ESE社製マスタークロックを更新の際、いままでお使いの機器を予備機として使用する事もできます。

新規対象機種

ES-102F
 ES-103F
 ES-160F(/NTP)
 ES-185F(/NTP)
 ES-188F (/NTP)

接続

もしDSUB9を使用している場合、そのまま差し替えできません。
 ケーブル5,9ピンの入れかえが必要になります。
 その他の信号は、以前の機器と互換性があります。

設定

設定ソフトはFシリーズマスター時計用の「Master Control Panel 3」になります。
 E、Uシリーズマスター時計 「Master Control Panel 2」

旧機種をバックアップ機として使用

NTP機能のバックアップ

新規にいれるES-1xxF/NTPは旧ES-1xxU/NTPと別アドレスにすれば同時に運用可能です。

NTP子機

ESEの子機はNTPサーバーを自動切替えて使用できます。
 自動で切替持った機器多いです。PCアプリも自動切替えてできるものあり。

GPS受信時計をコールドスタンバイ(電源入れずに予備機としてスタンバイ)として
 使用方法はお勧めできません。(長期間内部時計維持できない、その他)

タイムコード出力切替え

現用/予備機からのSMPTE, IRIG, ESE-TCなどの切り替えは、ES-150U(SMPTE/ESE-TC 信号監視)
 またはES-151U(IRIG 信号監視)を使用します。

